

第4回 三田市地域公共交通活性化協議会 議事録

【日時】令和4年3月7日（月）14:00～16:00

【場所】三田市役所本庁舎3階302会議室A、オンライン

【出席者】委員：17名（3名欠席）

土井 勉、北川 博巳、谷舗 尚彦、田中 祥敬、木村 隆人、佐々井 孝一、水田 節男、橋本 学、田橋 一、藤田 幸治、久高 輝之、田原 幸司（代理：末澤 直史）、柳本 真希、仲内 祐子、宮本 英幸、小畑 正則、室山 圭子

オブザーバー：2名

奥藤 秀樹（兵庫県交通政策課副課長）

竹内 宏（神姫バス株式会社計画課地域公共交通担当課長）

傍聴者：0名

事務局：5名

都市政策室長 小倉、交通まちづくり課長 高寺、交通まちづくり課係長 北村

交通まちづくり課主任 大脇、交通まちづくり課 山内

【次第】

- 1 はじめに
- 2 配布資料の確認
- 3 議事の進行（出席者委員数報告）・新委員紹介
- 4 協議事項
 - (1) 自家用有償旅客運送運行曜日の変更について
- 5 報告事項
 - (1) バス乗り放題オンラインパス 8/10～12/31 実績について（神姫バス株式会社）
 - (2) 三田線土休日運行の取りやめについて（阪急バス株式会社）
 - (3) 2022年春のダイヤ改正について（神戸電鉄株式会社）
 - (4) 市事業報告（三田市）
 - (5) 藍小学校-日出坂北線・藍小学校-相野駅線 の休止等について（神姫バス株式会社）
- 6 おわりに

【会議の概要】

（事務局）

新委員紹介。日本交通株式会社三田営業所より下塚様にかわり係長 木村 隆人様。
前任の所長 下塚 浩二様は先月末をもってご勇退。

（会長挨拶）

今回はオンラインがメインでの開催です。オンライン形式で行うことも新しい体験をすることができまますので、プラスとして考えましょう。

本日の協議事項「自家用有償旅客運送運行曜日の変更について」を事務局から説明をお願いします。

4 協議事項

自家用有償旅客運送運行曜日の変更について（詳細は別添協議資料参照）

（会長）

コロナ禍において頑張って運行されていることに非常に価値があります。

ただ、土日祝日の運行拡大はボランティアドライバーへの負担が広がっていく可能性があるが、曜日拡大の背景、地元からの意見等あれば教えていただきたい。

（事務局）

小野地区では、休日にバス停に隣接する乙原公民館で開催される乙原サロンという高齢者の集いで使いたいという意見があった。サロンに参加された後、バスを利用し、小野バス停で乗り継いで、三田駅の方へ出かけられるといった需要があるという申し出を受けて、今回協議していただくこととなった。

（会長）

他にご意見ご質問ございませんでしょうか。

（意見・質疑なし）

（会長）

この件については、協議が調いました。報告事項に移ります。

5 報告事項

(1) バス乗り放題オンラインパス 8/10～12/31 実績について（神姫バス株式会社）

（A 委員）

昨年の8月から12月の末まで販売。555パスと1999パスの2種類を販売。

555パスについて、最終的販売枚数は162枚。購入していただいた方の大半はリピータであった。

一方で、10日ごとに購入していただかなければならないので、そのことがお客様の負担になったようだ。

1999パスについては、三田と大阪間を運行しているバスの無料クーポン付きで販売。少し単価が高かったように思われる。また、利用期間が1か月ということもハードルが高かったようだ。

今後の展開は、ニュータウン内のバスの乗り継ぎ等を改善し、利便性の向上を図っていくような路線の再編の必要性も感じている。

（B 委員）

バス乗り放題オンラインパスを使う上で、地区内の乗り換えの利便性について、改善していただくことをよろしくお願いします。

また、中間の値段を設けて、ウッディタウンからイオンモールに往復するパスを付けていただきたい。その理由は、車に乗ることをやめてから、一度もイオンモールに行ったことがない。ウッディタウン内からイオンモールまで片道 310 円なので、少し高い印象を受けた。三田駅からイオンモールに行くような 270 円なら乗っても良いと思う。

そのため、このような機会にバスを利用してウッディタウンからイオンモールへ行くことのお得感を設けることによって、利用者を増加させる方向に持っていけるのではないかと思う。

(A 委員)

社内でもそのような話があったが、実現には至らなかった。現状運行している路線の活用という取り組みになっている。今後、今回のような形で実施することがあれば、そういったことも念頭に置きながら、進めていきたいと思う。

(2) 三田線土休日運行の取りやめについて (阪急バス株式会社) (詳細は別添報告資料参照)

(会長)

土日乗っておられる 0.9 人がどのような方というのが分かれば報告願います。この便がなくなっても、他の代替手段があれば大丈夫という気はするが、現場からの状況をお示しいただきたい。

(C 委員)

本路線については、以前は西宮市北部エリアから三田市へ通学されていた高校生がいたが、直近の利用状況を見てみると、通学定期の利用者はいない。運行時間帯は通勤通学時間帯と少しずれているため、おでかけに利用されていることが推測される。

代替手段としては、神戸電鉄を利用してアクセスしていただくということをお願いできればと思う。

(会長)

今はどのくらいの年齢層の方が乗っていらっしゃるのか。

(C 委員)

神戸市エリアや西宮市エリアの地域の方にお話を聞くと、高齢者である。

(会長)

利用者の方が神戸電鉄でうまく移動できれば問題ないですが、バスを動かすほどではないということですね。

(3) 2022 年春のダイヤ改正について (神戸電鉄株式会社) (詳細は別添報告資料参照)

(会長)

バスやタクシー利用者が戸惑わないようにしていただくとありがたいです。

(D 委員)

三宮に行く際に神戸電鉄を利用している。夜遅い便のダイヤ改正については、コロナ終息後は厳し

いと感じる。また、電車がコロナの関係で窓が開いているが、寒い。その点について、何かご配慮いただけるか。

(E 委員)

最終の時間帯については、元々利用者がそれほど多くないなか、コロナの影響によって更に減っている。利用者に対しては、事前に駅や列車内で3月12日からこの区間は運行がなくなるという案内をし、事前に知っていただくよう努めている。

また、列車内が寒いという意見について、この冬は同様の意見を多く頂戴している。当社は、古い車両が多く、新しい車両に比べると、気密性が低い。そのため、隙間風が生じたり地域の特性による寒暖差によって、車内が温まりにくい。暖房の性能を上げることも検討したが、これ以上あげられない。古い車両を廃止し、新しい車両に替えていくことで対応していくことになる。

窓の開扉幅については、以前までは大きくしか開けられない車両形式があった。しかし、車両を改造して、3cm程度しか開かないような工夫を施した。そのような対策も行っているが、それ以上に今季は外気温の低下が激しかった。ご迷惑をおかけした。

(副会長)

鉄道がダイヤ改正した場合、乗り継ぎをする際に影響があるかどうかということを気にしなければならない。その点はどうか。

(E 委員)

神姫バスには、ある程度ダイヤが固まった時点で、ダイヤをお伝えしている。JRとの乗り継ぎについても、JRがダイヤ改正される場合は、神戸電鉄に連絡が来る。また、神戸電鉄がダイヤ改正する場合も、JRへお伝えし、乗り継ぎについて、対応可能なものは、時間を合わせる等の対応をしている。JRとの関係では、運行本数が違うため、できる範囲で合わせている。

今回のダイヤ改正については、JRと同じ3月12日に神戸電鉄もダイヤ改正を実施。

(会長)

JR西日本も減便が多くあるとのことですが、三田方面は大丈夫でしょうか。

(事務局)

本日、JR西日本阿部委員がご欠席のため、ダイヤ改正についての情報共有がこの場でできないが、JRのダイヤ改正については、福知山線で数本予定。新三田から篠山口・福知山方面の便数が、11時から13時の昼間時間帯において、30分に1本だったものが、一部1時間に1本になるという減便を予定。

大阪から新三田間の宝塚線については、20時から21時台に1便から2便の減便が予定されている。

(会長)

全体のネットワークが減便になっても維持されることが大事だと思います。

(D 委員)

車両を新しいものと入れ替えるという話があったが、現在、ウッディタウン方面で新型車両を運行され、新開地方面には新型車両はあまり運行されていないように思う。そこを入れ替えたらどうか。

(E 委員)

ここ数年導入した新型車両については、すべて3両編成。三田から新開地間を運行する電車については、ある程度ご利用者数があるため、4両の電車を使用。公園都市線は3両の電車で運行しているが、その3両編成を三田から新開地間で使用するというのは、昼時間帯では可能かもしれないが、朝夕のラッシュ時間帯については、難しい。

(会長)

コロナ終息後には、ご利用が増えてダイヤが元に戻るようなことがあれば嬉しいです。

(4) 市事業報告（三田市）（詳細は別添報告資料参照）

(会長)

一つ目は、交通計画推進事業の次世代モビリティ推進について、アンケート調査をし、コンソーシアムを設置したということですが、具体的にどのような活動をされているのですか。この協議会との関係もありそうな気がしますので、ご紹介願います。

二つ目は、地域外出支援おでかけサポート事業について、素晴らしい事業だと思う。広野で乗り方教室を実施されて、実際どれくらいの効果がありましたか。また、効果を上げていくために工夫すべき点等あれば、次の取り組みに生かすことができると思いますので、報告願います。

最後、高齢者運賃助成事業のグラフについて、4月分に積み重ねて5月ということですか。表の意味がよくわかりませんので、表の意味をご説明いただきたいです。

(事務局)

次世代モビリティ推進ということで、今年度初めての試みとして、官民連携の体制を構築するため、交通事業者様とその他民間事業者様を加えて組織を作った。三田市内の交通課題について、まず課題を共有し、新しい技術を取り入れることで、交通課題の解決が加速できないか、知恵を出し合うなど意見交換を重ねている。

その取り組みの一つとして、令和3年10月にフラワータウンで市民文化祭が開催されたため、高齢者を中心に移動に関するアンケートにお答えいただいた。普段の移動方法や、将来の移動についての不安、新しい乗り物やサービスについての印象の聞き取りを実施。アンケート実施時の印象は、ほとんどの方が地域内の移動は徒歩や自家用車だった。将来的には現在の移動方法そのものに対し不安をかかえているということがわかった。また、新しいサービスの印象について、サービスの内容と費用によるという意見と、好感を持つという意見が多かった。この件について、次回以降、皆さまと情報の共有を進めていきたい。

バスの乗り方教室については、乗り方教室をしたから劇的にバス利用者が増えたといったようなことはなかった。ただ、定期的に地域の方と実施している委員会で、「乗り方教室はすごくよかった。」「大変好評だったけれども、時間が経つとみんな忘れてしまう。そのため、定期的に思い出してもら

わないといけない。」というような意見があった。そこで、自家用有償の利用促進も兼ねて、高齢者運賃助成券を利用して、バスの回数券を買いに行こうツアーや高齢者運賃助成券を利用して、神姫バスの NicoPa カード作成してみようツアーを企画してみようというご提案が出ている。まだ実現はできていないが、思い出していただく機会や活用していただく機会を作っていこうという取り組みにつながったことは、非常に良い効果があったと感じている。

最後に、高齢者運賃助成事業費について、平成 31 年、令和 2 年、令和 3 年のそれぞれの 4 月からの累計値を棒グラフにした。

季節関係なく、きれいな傾斜になるのか。というご意見について、高齢者運賃助成事業が実際に使われたその日その月に対して扶助費が発生しているのではなく、回数券をお買い求めになった時に発生する。その回数券の利用時期については、こちらでは把握しきれないというサービスである。おそらくきれいに右肩上がりになる要因である。

今回、この扶助費 3 か年の累計値を掲載したのは、平成 31 年度から令和 3 年度にかけて、コロナの影響による利用者の減少を可視化するために掲載した。公共交通利用が 2 割から 3 割減少している傾向と同傾向。平成 31 年に比べて令和 2 年、令和 3 年に若干の回復はしているものの、2 割以上の利用者の減少がこちらでも見られるということを示し共有させていただいた。

(会長)

新モビリティの話は、三田市の大きな問題であるラストマイルの問題でもあると思いますので、報告出来たら良いと思いました。

バス乗り方教室について、いつも乗っていない方は、すぐ忘れてしまう。使わないと何が何だかわからないとなるため、このような取り組みを行っていただけることは非常にありがたい。普段利用していない人が、参加されたということが大きな成果です。

高齢者運賃助成について、月別に集計するといろいろな傾向が読み取れるはずですが。月別に分析すると、季節によって変動するということがあり、場合によっては年度末にすごく増えたりすると思います。対応策を考える材料になるので、現状をグラフ化する場合は気を付けて下さい。

(D 委員)

今回の市事業報告とは直接関係ないが、三輪東部での今後の取り組みをお聞かせ願う。また、三輪東部を通過して三田駅方面へ向かう車について、スピード超過の車両にかんする苦情があった。その点何か対策ができないか。

(事務局)

新しい取り組みをしたいという地域に対しては、市と一緒に交通課題について検討する機会を準備している。地域公共交通検討支援プログラムのご紹介もさせていただいている。地域の皆さまの積極的に自発的な意思がないと、新しいことをしても、持続させることが難しいと考えている。

既にご相談を受けている地区もある。市事業報告でも紹介した、ウッディタウンのあかしあ台でも地域は地域なりの交通課題を抱えているということで、取り組みをされた。

三輪東部についても、まちづくり協議会の会長様も課題認識を持たれていて、協議会の中で、その件について話をされたということは聞いている。ただ、まだ当方へのアプローチには至っていない。

引き続き私たちが投げかけをさせていただきたい。

活性化協議会だけでなく、まちづくり協議会や地域の皆さまにも、広野地区・小野地区の取り組み紹介をさせていただきたいので、室山委員のご協力なしにはできない。よろしくをお願いします。

地域内の生活道路での通行車両のスピードの問題については、具体的な場所や路線、状況等をお知らせいただければ担当部署に情報をつなぐ。また、本日三田警察署の方も出席されているため、担当部署から連絡等ありましたらよろしくをお願いします。

(5) 藍小学校-日出坂北線・藍小学校-相野駅線の休止について（神姫バス株式会社）

（詳細は別添報告資料参照）

（A 委員）

運行当初は通学バスで 50～60 名程度の児童の利用があった。年々児童数の減少もあり、中型バスから小型バスへ変更して運行してきた。資料内の 2020 年 IC 実績では 21 名と 10 名の 31 名、昨年度は、15 名と 8 名程度ということで、年々減少している。

運行当初より、一般のお客様の利用は少なかったため、スクールバス化していた部分もある。

運行の状況は大変厳しく、この路線にバス 1 台と乗務員 1 名を充てて運行することは非常に難しい状況。その結果、この路線について令和 4 年 10 月を目途に休止したい。休止後は三田市へスクールバスとしての運行をお願いしている。

（会長）

休止の後は、三田市のスクールバスでカバーするということでよろしいでしょうか。

（事務局）

市の方からも補足させていただく。

今、谷舗委員から説明の通り、日出坂北方面から藍小学校と相野駅から藍小学校の別系統で運行しているように見えるが、1 台のバスと 1 人の乗務員で運行している。

2020 年の IC データ実績について、午前便の日出坂方面からは 21 名程度、相野駅方面からは 10 名程度が利用されている状況。午後の帰り便については、情報が不足していて申し訳なかった。報告資料 3 の表中①※が 3 便あるが、3 便合計で 1 日平均約 9 人、②※は 3 便合計で、平均 15 人が利用している状況。帰りは、保護者による送迎や学童保育に行ったり等、帰りの便を利用している人数は朝よりも若干減っているという傾向。

利用のほとんどが児童ということで、神姫バス様よりこのお話をを受けて以降、藍小学校線沿線地区でヒアリングを行った。この路線の利用状況や休止の話を地区役員の皆さまに確認した結果、多くがスクールバスだと認識されていた。子どもたちの移動を確保できれば、当面問題ないという意見が多数であった。

今後の方向性としては、神姫バス様の路線休止後は、絶対確保しなければならない通学手段というのは、早期に代替手段として確保する。これから新年度予算が審議されるが、一旦スクールバスという形で、導入を検討している。

退出時期等については、これから調整。しかるべきタイミングで、協議事項として、皆様にご協議させていただきたい。

(会長)

IC実績は1日当たりということですか。

また、8月、子どもたちは夏休みであまり乗る機会が多くないということはなかったのですか。

(事務局)

1日当たりの実績です。

運行ダイヤについては2021年8月ダイヤで時刻は記載。IC実績については、2020年9月のIC実績を掲載。

(会長)

9月の実績を1日に置き換えているということですか。

その点、この資料を今後も使われるようでしたら、もう少しわかるように記載されていた方が良いと思います。

(事務局)

今後も使用するため、誤解のないように記載する。

(会長)

10月末をもって一旦休止ということで、その後は事務局がおっしゃられた手段が取られる予定ということですか。

(Fオブザーバー)

相野駅から藍小学校前までバスの線が報告資料3の2.路線図に引いてあるが、その区間については、グループ会社の神姫グリーンバスが、今田町や清水寺の方に向かうバス路線を並行して走らせている。そのため、人口密度の高い藍小学校エリアについては、別の交通手段で補完できる。

(会長)

次の協議会でこの話になると、並行路線であるとか、ダイヤを参考資料として出していただきたいと思っています。

報告事項も以上とさせていただきたいと思っています。

6 おわりに

無事に皆様からの意見も頂戴し、議論等ができました。ありがとうございました。

協議会は以上とさせていただきます。

事務局から次回の予定等ありましたらお知らせください。お願いします。

(事務局)

土井会長、円滑な進行ありがとうございました。また、委員の皆様、活発な議論ありがとうございました。

ました。次回の協議会は令和4年5月の連休明けを目途に開催したい。

最後になりますが、広報さんだ11月号をお渡しさせていただいている。11月号では、地域公共交通を特集として取り上げていただいた。本日案内しました広野や小野の取り組み、各交通事業者様の取り組み等もご紹介されているため、ぜひお読み取りいただければと思う。

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。

これをもちまして、第4回三田市地域公共交通活性化協議会を終了とさせていただきます。